

ハロウィン

『ぼくたちも
コスプレして
いちばんのり
しなきゃ』

『さあ
パーティの用意も
すんだし
後は夕方に
森のみんなが
あつまるのを
待つだけね』

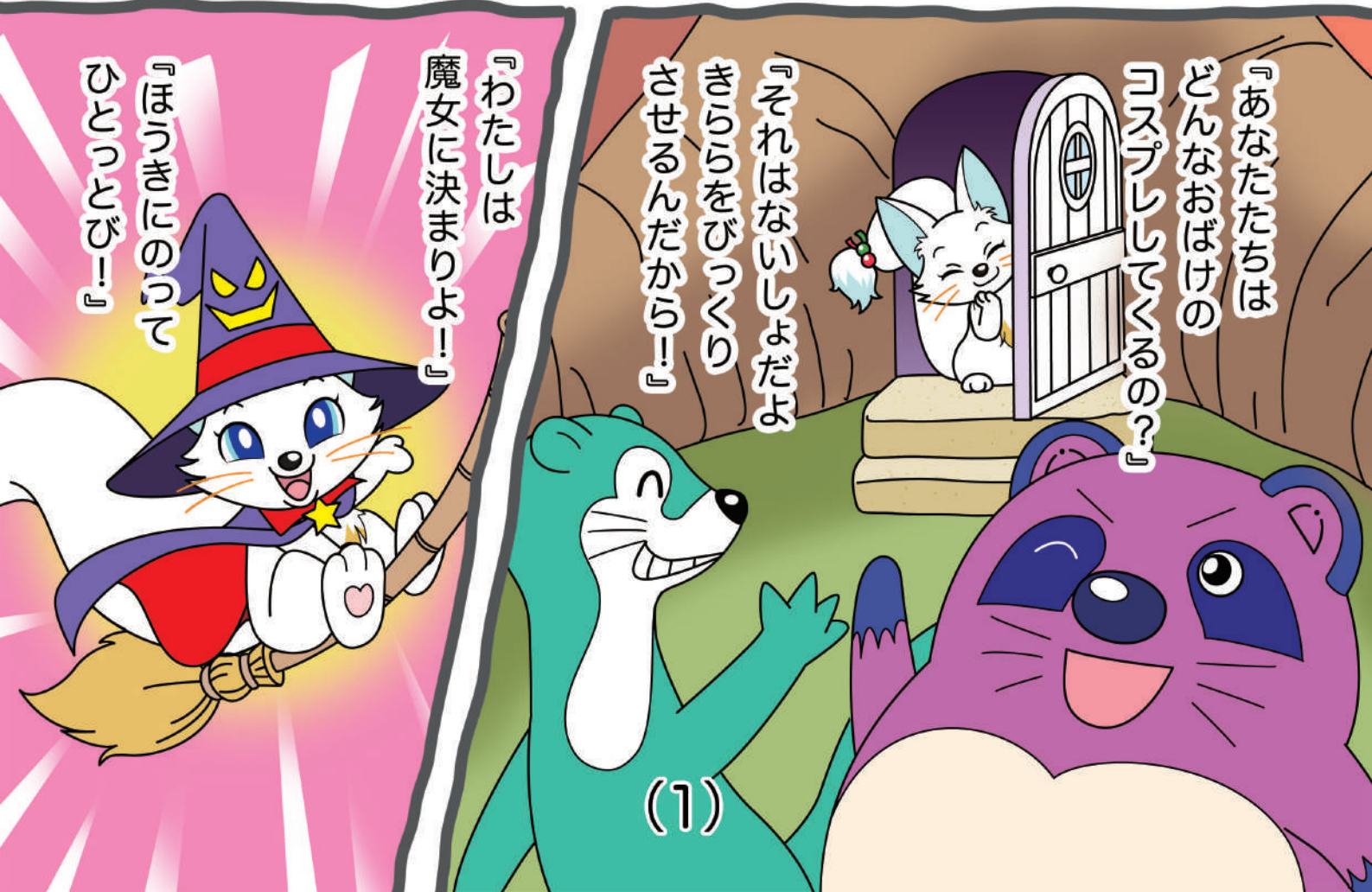


『ほんきにのこ
らうじやうー』

『わたしは
魔女に決まりよ!』

『あなたたちは
どんなおぼけの
コスプレしてくるの?』

『それはないしよだよ
きららをびっくり
させるんだから!』

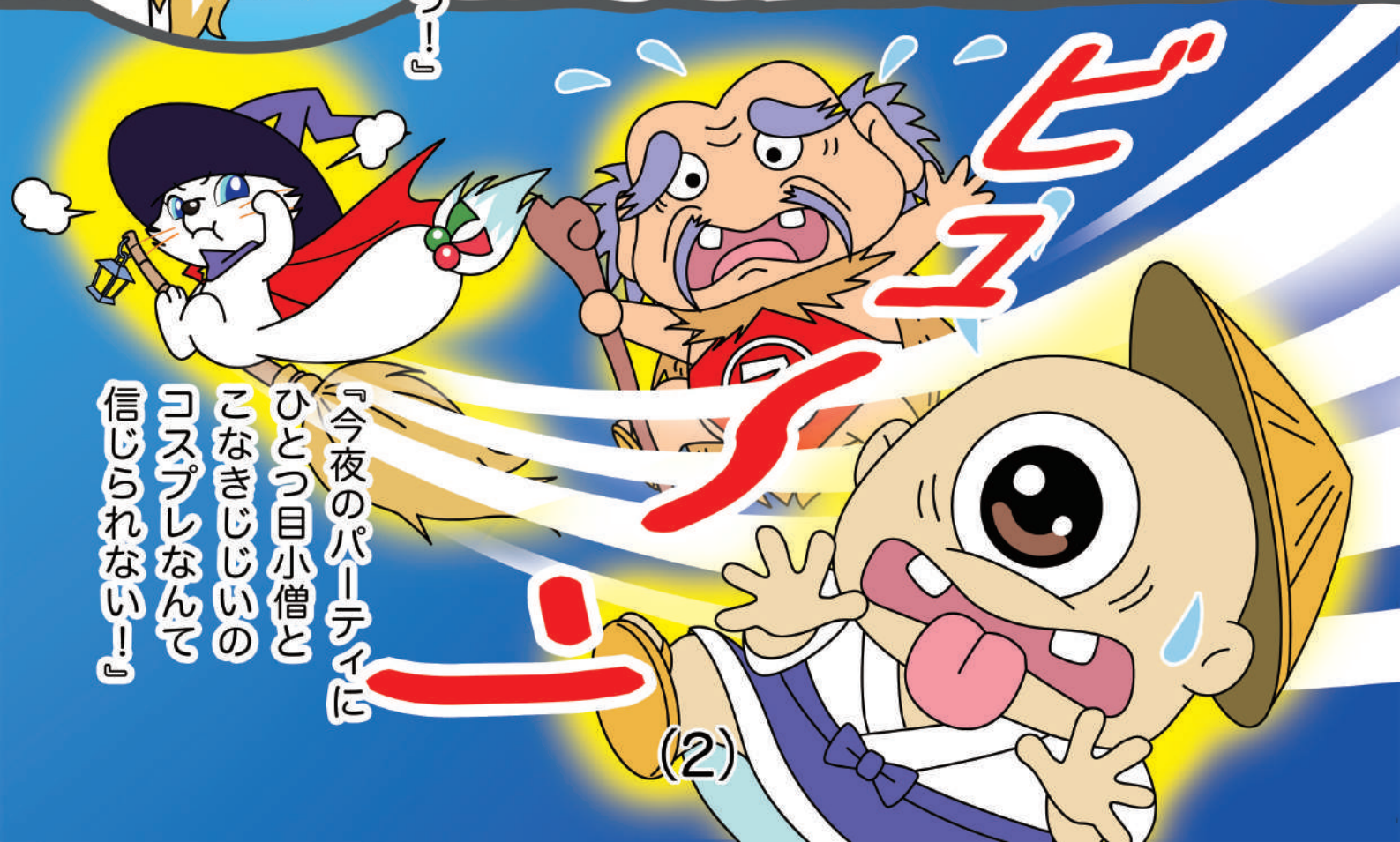




『あら？
でもなにか
すがたかたちが
へんね・・・』

『さっほり
一番のりは
ポポタンと
うそっちね』

『えっ
なによ
そのかっまじー！』



『今夜のパーティーに
ひとつ目小僧と
こなきじじいの
コスプレなんて
信じられない！』

『あのねハロウィンは
外国のおばけで
コスプレするのよ!』

『しらなかった...
どろんの森は
おばけなら
なんでもいと
おもっていたのに...』

『そんなすがた
みんなに見られたら
恥ずかしいから
はやくコスプレしなきゃ』



『しかたがない!
わたしがこわいのに
きめてあげる!』

やっ

カッ

(3)





『きゃー！
こんなおばけじゃ
かっつこわるいよー！』

『もっと
ちがう
おばけにしてよー！』

『あら？
あなたたち
ポポタンと
うそっちじゃ
ないわね？
声がちがうもの』



『きゃー
おまちどうー！』

『やっぱりー！』

『じゃあ
あなたたちは
いったいだれなの？』

『ぼ、ぼくたちは
その・・・』



『さあ
どろんの森の
ハロウィンパーティーの
はじまりよ!!』

おどろ

と



『どっても
おいしいね
お料理も
おかしも!』

『パーティーが
まいにち
あるといいね』

『えっ
ほんとうに?
あ、ありがとう!』

『ウフフ
よかったら
持って帰っても
いいわよ』

『たべにくそうね』



『でも、こんどは
こわいおばけでね』

そして
ハロウィンパーティーは
おわりました
『今晚は
とっても
たのしかったよ
どうもありがとう』

『また
来年も
かならず
あそびにきてね』



『はじめての
ハロウィンは
ひどいめに
あったけど・・・』

『来年は
いつもの
このすがたで
来ようね』



ケケケ...
どんぱん